

押出外導（フリースト）回転式ハギ取工具（Ⅱ型）

適用サイズ	
6, 600V	CV 60mm ² ~ 1200mm ²
22, 000V	CV 400mm ² ~ 1200mm ²

1. 工具各部の名称

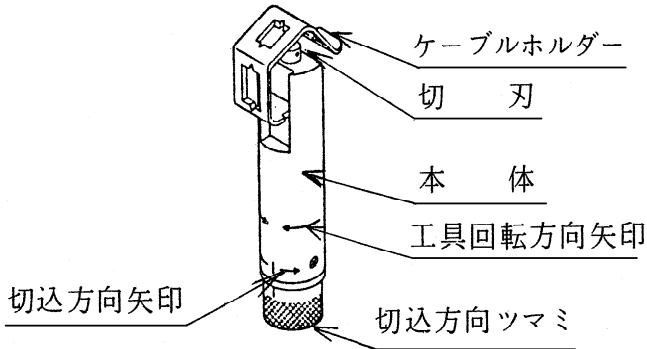


図-1



図-2

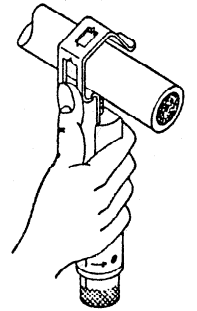


図-3

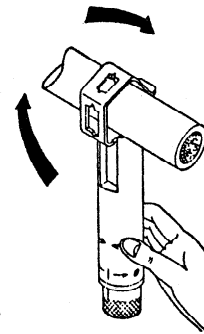


図-4

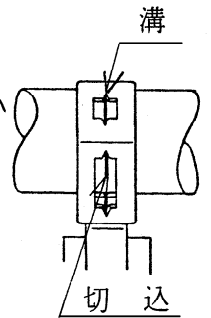


図-5

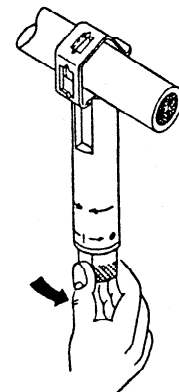
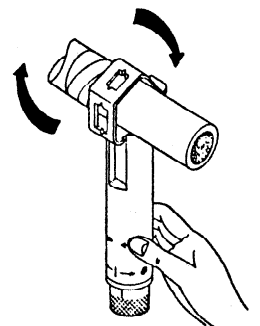


図-6



2. 取扱い手順

(注) 切刃部のねじがゆるみ切刃が回転する状態では、被覆を切ることが出来ないことがありますので、切刃部のねじゆるみのないことを確認して下さい。

- (1) 切込方向ツマミを中央位置へセットして下さい。(図-1)
- (2) ケーブルホルダーを左手で引き上げ、右手親指にて支持して下さい。
- (3) ケーブルホルダーを支持した状態でケーブルへ工具を挿入します。(図-2)
〔挿入位置は切断部〕
- (4) 支持した親指をはなし、ゆっくり切刃をケーブルに接触させます。
〔この時工具を引きながら行うと良いです。〕
- (5) 工具本体を軽く持、手前から上方へ工具を回転させます。(図-3)
〔工具回転方向矢印の方向へゆっくり回す。〕
- (6) ケーブルホルダーのぞき窓より、切込線を溝に合わせながら、切り始めと切り終りが一致する様工具を移動し、輪切りを完了させます。(図-4)
- (7) 輪切りが終了したら工具回転を停止し、切込方向ツマミをケーブル端末側にセットして下さい。(図-5)
〔ツマミは中央より15°動きストップします。〕
- (8) (5)と同様にして、工具回転方向矢印方向へ工具をゆっくり回転させます。(図-6)
〔この時工具は、切込矢印方向へ自然に移動しますので、手で無理に移動しようとししないで下さい。〕
- (9) (8)の状態でもケーブル端末までらせん切りを行います。
- (10) らせん切りを行った被覆端末にナイフを差し込み、被覆を引き起します。(図-7)
- (11) 引き起した端末をつまみ、被覆をゆっくりと取り除きます。(図-8)
- (12) 切り刃の切れ味が悪くなりましたら、切り刃部のネジをゆるめ、新しい刃の位置に回転させて下さい。

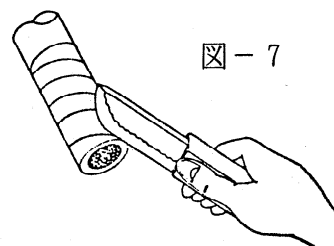


図-7

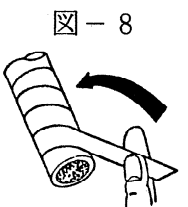


図-8